



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレターNo. 124

2010年8月



聖なる人

会員 片山 進悟

アロンとその子らは、その肉と籠に入れてあるパンを臨在の幕屋の入り口で食べる。彼らは、彼らを祭司職に任命し、聖別するための贖いに用いられたものを、食べる。他の者は食べてはならない。これらは聖なる物である。もし、任職用の肉またはパンが、朝まで残ったなら、その残りは火で焼く。食べてはならない。これは聖なる物である。(出エジプト29:32~34)

今日は聖ということについて考えて見たいと思います。

キリストを信じる人達を弾圧しようと意気込んでダマスコに向かう途中、キリストに出会って、その余りにも強烈な光で目が見えなくなってしまったパウロのもとに、神がアナニヤを遣わそうとされた時、「アナニヤはこう答えた。『主よ。私は多くの人々から、この人がエルサレムで、あなたの聖徒達にどんなにひどいことをしたかを聞きました。』(使徒9:13)

このように聖書には聖徒という言葉が何度か出てきます。聖なる人達という意味ですが、新約時代で言えば、クリスチャンのことを言っているだけです。そうすると、私も聖徒の一人ということになり、自分を省みて、何となく居心地が悪くなってしまいます。

そこで聖徒と言われている人はどんな人のことを言うのだろうか。聖なる人とはどんな人だろうかと考えてみると、旧約聖書にも聖徒という言葉は使われていて、その中に答えがありました。

「私の聖徒達を私の所に集めよ。いけにえにより、私の契約を結んだ者達を。」

この詩篇50:5は、聖徒とはどういう人のことであるかを明確に告げています。聖徒とは、いけにえの血を通して神と契約を結んだ人のことです。

イスラエルがエジプトを出てきた時、モーセは「契約の書を取り、民に読んで聞かせた。彼らが、『私達は主が語られたことを全て行い、守ります』と言うと、

モーセは血を取り、民に振りかけて言った。「見よ、これは主がこれらの言葉に基づいてあなた達と結ばれた契約の血である。」(出エジプト24:7~8)

この時、イスラエルの民は、いけにえの血を通して神と契約を結び、神の民になりました。それは神の所有になったということです。最初に挙げた出エジプト29で神が「聖なる物」と言われたのも、御自身の物だから、人が私物化してはならないということです。

人間なのに所有と言うと誤解を受けそうですが、この契約を神は結婚に例えられることを知れば、多少違った感じがすると思います。結婚について神は、「男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる」(創世記2:24)と言われます。夫は妻に属し、妻は夫に属すから、言ってみればお互いに所有の関係にあるということです。

神は、絶対的に聖なる方です。その聖なる神の所有になるということは、その瞬間に、例えば火で焼いたように、あるいは物凄い電撃が走るようにして、一瞬にして混じり気や汚れた部分が消えてしまい、聖いものになってしまうとみなされるのです。

でも実際、この世にある間、人間は聖くはなれません。日々、色々な俗な事柄を扱い、接していかなければなりませんから。

しかし、実体はどうであれ、神との契約関係にある人は聖なる人なのです。

それは地位と状態ということ考えると分かりやすいと思います。神との契約関係に入った時、その瞬間に、その人は神の子になります。ところが、実態は今までと変わらない、俗な部分の多くある人のままです。つまり状態は少しも聖ではないのだけど、聖なる人という地位、身分を受けるので、聖徒と呼ばれるわけです。

そういう人に向かって神は、「私はあなた方の神、主であるからだ。あなた方は自分の身を聖別し、聖なる者となりなさい。私が聖であるから。私は、あなた方の神となるために、あなた方をエジプトの地から導き出した主であるから。あなた方は聖なる者となりなさい。私が聖であるから」(レビ記 11:44~45)と、御自身との契約関係に入った人達に聖なる者になるようにと言われます。

これは何も旧約だけのことではありません。「キリ

ストに対するこの望みをいただく者は皆、キリストが清くあられるように、自分を清くします」(1ヨハネ 3:3)と、新約でも日々清くなるように努めなさいと教えている。

聖なる者になったから契約に入れられるのではなく、契約に入れられたのだから、聖なる者になりなさいと言われていて、救いは努力によって得られるものではないことを、もう一度確認しておきたいと思います。

AMCF アジア大会の恵み

会員 圓林 栄喜

2010年AMCFアジア大会が近づいて来ています。私は1995年、2002年の大会に参加しました。アジア諸国の軍人クリスチャンの方々との信仰に関わる交流がもてましてことは、私にとって信仰上の非常におおきな励みでありました。今回は、アジア大会で与えられた恵みをいくつか紹介したいと思います。

1 各国の信仰者の状況がわかる

日頃、クリスチャンとして生活する中でどうしても日本のことばかり耳にすることになりますが、アジア大会に参加することでそれぞれの国の特性、キリスト者の置かれている立場、ビジョンなどを知ることができます。

韓国のようにクリスチャンの割合の多い国もあれば、日本のようにクリスチャンの割合の少ない国もあります。

しかしそれぞれの国の中でクリスチャンとして信仰の証をしつつ、歩んでいる兄弟姉妹の状況を知るとてもよい機会であります。各国の宣教師の方々がそれぞれの教会で宣教報告される機会はあると思いますが、同時期に10カ国近い国々のキリスト者の状況を現地の方々から直接話を聞く機会はなかなかないと思います。

是非、参加して聴かれることをおすすめします。

2 軍人キリスト者としての祈りの課題が与えられる

ある種特別な立場にある軍人(極めて高い倫理観と規律が求められるべき組織であると認識しています。)の兄弟姉妹が置かれている状況を理解し、祈りの課題として祈っていくことはクリスチャンとして本当に重要なことであると思います。

AMCF(※1)、ACCTS(※2)のように軍人クリスチャンの各国の状況を紹介しつつ祈りの課

題を提供してくれる組織もありますので、祈りに覚えたい方々はぜひ参加することをおすすめします。

3 信仰の友が与えられる

この大会を通じ、私にはBrianという友人が与えられました。彼は米軍士官でしたが、現在は退役しある国の医療宣教の働きに加わっています。

イスラム教国の中で身の危険を顧みず働いている宣教師の友から送られてくるニュースレター等を読み、祈りに覚え、家族ぐるみの交流を続けています。

一人で何でもできるわけではありません。今置かれている立場で我々が何ができるのかを考えた時、まずは情報を得ること、そして自分にできることをはじめることが大切だと思います。

祈りの友、アジア地域の信仰の友を与えてほしいと思う方々は参加することをお勧めします。

アジア大会を通じて与えられる恵みは他にもさまざまであると思いますが、**百聞は一見に如かず**です。ぜひ皆さんも参加され、多くの恵みを受けていただきたいと願います。

※1 AMCF <http://www.amcf-int.org/>

※2 ACCTS <http://www.accts.org/>

献金感謝 (2010. 4. 1-2010. 7. 20)

いつもコルネリオ会を覚えていただき感謝致します。

今井健次、石川信隆、倉松功、今市宗雄・敬子、下桑谷玲子、吉田靖、大島之成、岡村紀子、矢田部稔・和子、片山信悟、伊藤忠臣、谷岡博志、廣田具之

アジア大会の必要が満たされますよう引き続きお祈りとお支援をお願いいたします。

2010年 軍人キリスト者会東アジア大会の概要

1 目的

神を共に礼拝し、キリストイエスにあって一つであることの喜びを分かち合い、そして隊員同僚への福音伝道を鼓舞・自覚し合うことである。

2 テーマ

「沖へ出でよ！」(ルカ5:4)

3 開催期間

2010年9月2日(木)～4日(土)

4 開催場所(成田空港隣接ホテル)

マロウドインターナショナル成田

〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1

TEL 0476-30-2222

アクセス

電車: JR・京成線 空港第2ビル駅より

無料シャトルバスにて約10分

JR・京成線 成田空港駅より

無料シャトルバスにて約20分

京成線 京成成田駅より

無料シャトルバスにて約15分(時間帯によっては約30分)

成田空港発ホテル行無料シャトルバス

時間	ターミナル1 (16番) 発	ターミナル2 (27番) 発
7	30	00 40
8	10 40	20 50
9	10 40	20 50
10	10 40	20 50
11	10 40	20 50
12	10 40	20 50
13	10 40	20 50
14	10 40	20 50
15	10 40	20 50
16	10 40	20 35 50
17	10 40	05 20 50
18	10 40	20 50
19	10 40	20 50
20	10 40	20 50

大会プログラム

9月2日(木)	
1300	大会受付
1500-1610	開会礼拝 今市市長歓迎挨拶、大喜多正洋牧師説教
1615-1730	各国報告(I) 台湾・日本・ウズベキスタン・ キリギススタン・カザフスタン
1800-1900	歓迎夕食会、世界会長挨拶
1900-1920	写真撮影
1930-2100	宣教会
2130-2200	役員会議

9月3日(金)	
0630-0730	朝食
0800-0900	グループ討議
0915-1015	各国報告(II) 韓国・中国・モンゴル
1030-1130	聖書講演、山北宣久牧師説教
1200-1800	観光(つくば宇宙センターまたはクリスタルガラス)、ショッピング・夕食
1930-2100	宣教会
2130	役員会議
9月4日(土)	
0630-0730	朝食
0800-0900	グループ討議報告
0915-1015	証し(矢田部稔・和子夫妻および下桑谷浩宣教師)
1030-1130	派遣礼拝 徳梅陽介牧師説教
1130-1200	閉会式 東アジア会長挨拶、 表彰式
1230-1330	送別昼食会、送別挨拶
1400	解散

申込書

ふりがな氏名					男女
連絡先	〒				
	TEL				
	e-mail				
ふりがな同伴者					男女
参加期間	金額	人数	小計	合計	
全期間	<input type="checkbox"/>	¥30,000	名	¥	¥
部分参加	9/2	<input type="checkbox"/>	¥12,300	名	¥
	9/3	<input type="checkbox"/>	¥13,200	名	¥
	9/4	<input type="checkbox"/>	¥4,500	名	¥
申し込み先					
〒300-0607 茨城県稲敷市光葉4-134 今市宗雄					
TEL&FAX:0299-79-3237					
E-mail: graziosomk@ybb.ne.jp					
参加費送金先					
・郵便振替 00130-3-87577 コルネリオ会					
・三菱東京UFJ銀行 和光支店 普通 0385701 JMC					
宿泊されない場合、同伴者と参加者が異なる場合、お子様が参加される場合等の細部事項その他大会に関するご意見やご質問があればご記入ください。申し込みは 2010年8月13日まで にお願いします					

2010年度総会報告

6月12日(土)、2010年度コルネリオ会総会がマロウドインターナショナルホテル成田にて実施されました。2009年度の活動報告・会計報告と2010年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議がありました。

また、2010年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は以下のようになっています。異議のある方は会宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

2010年度コルネリオ会活動計画および担当者

1 方針

コルネリオ会は、2010東アジア大会準備のために総合的な奉仕活動を忍耐強く継続すると共に会員の参加を振起し、大会の実行に主の栄光を期する。

2 活動要領

(1) 東アジア大会参加者の掌握

ア 会員30名招致のため、4月のニュースレターに参加申込み返信用はがきを同封する。

イ 外国については、4月末に一次把握し、じ後120名以上の確保に努める。

ウ 6月の時点でMCFの参加者が100名に満たない場合は、大会の中止を速やかに検討する

(2) 東アジア大会プログラムの充実

ア 講話内容については、先生方に一任するも適宜に情報の交換に努める。

イ 討議内容の的確性と効果的な進行を迫及する。

ウ 各国報告は、参加者の少数国を重視して進行する。

エ 司会・賛美は、逐次の調整により大会を喜びと恵みに溢れたものとして行く。

(3) 国内活動との連携

自衛隊宣教会、テモテ会との連携・調整を密にして協調し合う。

(4) 国外活動との連携

AMCF及びACCTSとの意思疎通を図り、東アジア大会準備を円滑にする。

(5) 広報

大会を通じコルネリオ会の実情を理解して貰うと共にニュースレターにより活動を拡充する。

(6) 会計

東アジア大会を最大限支援すると共に宣教活動等への献金を継続する。

役員人事

会長	今市宗雄
副会長・ 総務	伊藤忠臣
総務	中野久永
総務	長濱貴志
渉外	石川信隆
	矢田部稔
広報	伊藤忠臣
	圓林栄喜
	藪内隆志

会計	加瀬典文
監査	玉井佐源太
	中野秀知
名誉会長	矢田部稔
永久名誉	今井健次
教職顧問	金学根
	井草晋一
	徳梅陽介

2009年度決算

(2009.4.1~2010.3.31)

1 収入	前年度繰り越し	¥1,590,787
	献金	¥427,500
	大会参加積立金	¥3,000
	利息(郵便定期貯金)	771
	合計	¥2,022,058
2 支出	講師・謝礼費	¥0
	ニュースレター作成・発送費	¥99,778
	集会費・例會會議費	¥24,600
	新聞雑誌広告費	¥27,800
	慶弔費	¥0
	接待交際費	¥0
	旅費交通費	¥0
	事務通信費	¥8,300
	雑費(振り込み手数料)	¥4,930
	献金(国内教会・自衛隊宣教会等)	¥0
	大会参加費積立	¥3,000
	小計	¥168,408
	2009年度への繰越金	¥1,853,650
	合計	¥2,022,058

2010年度予算

(2010.4.1~2011.3.31)

○ 一般会計

1 収入	前年度繰り越し	¥1,853,650
	献金(※)	¥350,000
	利息	¥770
	合計	¥2,204,420
2 支出	講師・謝礼費	¥30,000
	ニュースレター作成・発送費	¥100,000
	新聞雑誌広告費	¥45,000
	例會費(10回)	¥40,000
	慶弔費	¥20,000
	接待交際費	¥10,000
	旅費・交通費(国内・国外移動)	¥40,000
	事務通信費	¥8,000
	雑費(振り込み手数料)	¥5,000
	献金(国内教会・自衛隊宣教会等)	¥50,000
	次年度への繰越し(一般会計)	¥325,420
	特別会計(アジア大会)	¥1,531,000
	合計	¥2,204,420

○ 特別会計

1 収入	一般会計から補助	¥1,531,000
	参加費(30,000×130名)	¥3,900,000
	合計	¥5,431,000
2 支出	ホテル等	¥4,136,050
	参加国援助	¥240,000
	牧師謝礼	¥200,000
	通訳、賛美スタッフ等謝礼	¥420,000
	印刷・製本	¥30,000
	事務費・雑費	¥404,950
	合計	¥5,431,000

(編集子)

東アジア大会の祝福と必要が満たされますようお祈りください。